
ぐうたらリーマン短篇集

初心者A

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぐうたらりーまん短篇集

【Nコード】

N1461J

【作者名】

初心者A

【あらすじ】

地味にみえて個人的でほんわかサラリーマン達の対話式ストーリーです。

関西弁キャラ、ツリ目、メガネっこ、快闘ショートカット娘、各種取り揃えております。

読んだら力がふんわりぬけていきそうな脱力系文集とか書きたいな。
イライラする人、せっかちな人は耐えられないかも。

登場人物とか

・春日（ ）

そのへんにいるサラリーマン。
頬がピンク色。

・鬼怒川（ ）

そのへんにいるサラリーマン2。
ツリ目。

・菊池（ ）

そのへんにいるサラリーマン3。
メガネっこ歴一年。

・鬼ヶ島（ ）

そのへんにいるサラリーマン4。
ツリ目2。

・松山（ ）

そのへんにいるサラリーマン5。
快闊ショートカット娘。

お題『面接』

（春日の場合）

四方が白い四角の壁で覆われた狭い個室。

その中に事務的なテーブル一つとイスが三つ。

座っているのはこの面接の試験官二人と受験者。

白色灯により部屋は何もかもが白く照らされていた。

三人のうち、一人が白い顔の筋肉を弛緩させて尋ねた。

試験官2はごくりと唾を飲む、まさに緊張という二文字で裝飾されるべき瞬間…のハズだ。

試験官1「あなたの自己紹介をしてみてください。」

面接者はやや緊張した面持ちで顔の緊張を弛緩させずに口をパクパク動かした。

春日「は、はい」

春日「名前はかすがと…あっ！」

試験官1、2「どうかしましたか!？」

春日「エアコン止めの忘れとった！」

試験官の二人は同じことを考えるに至った。

「今気にすることか、それ」

春日（はっ！

やってもうた、何いらんことをゆーてんねん。

どないしょ、

空気が…ああ…部屋の空気が…

あ、そや！（

試験官1、2「…。」

沈黙仏頂面の試験官達。

そして再び春日のターン。

春日「いやあ…

あ、空気が止まりましたね！。」

ま

さ

か

！

春日「エアコンだけに！」

試験官「S「!?!?」

試験官の顔はもはや眉間にグレートキャニオン。
目はドイツシユ。

春日は考えた。この寒い状況を覆す事を。

（あちゃー、しっばいやー！）

ぜんぜんフォローになってへんどころか寒い…。

俺のばかたれ！

まぬけ！

さみしがり！）

試験官「s」…」

春日「…！」

何かをおもいついたような顔、試験官「s」は顔を柔らかくする。

試験官「s」寒いギャグはおわかりましたか？」

春日「んえ？

寒いですって？」

試験官「S」!？」

試験官「S」…ま、まさか…!!」

春日「寒いですが、エアコンだけに!」

試験官2「ここはNSCじゃねー!」
二段才チ失敗。

く鬼怒川の場合く

四方が白い四角の壁で覆われた狭い個室。
その中に事務的なテーブル一つがイス三つ。

座っているのはやや疲れ気味の試験官二人と受験者。

白色灯により部屋は何もかもが白く照らされていた。
三人のうち、一人が白い顔の筋肉を弛緩させて尋ねた。
室内に緊張感が漂う。

試験官1「…自己紹介なさい。」

鬼怒川「はい!

きぬがわと申します!

野球部出身です!」

試験官2（やっとまともなヤツが入ってきたか…）

試験官1「大学時代にうちこんだ事は？」

鬼怒川「ノック！」

試験官1「野球だけにつてか！」

鬼怒川「なんでやねん！」

まさかのコンボ。

く菊池の場合く

四方が白い四角の壁で覆われた狭い個室。

その中に事務的なテーブル一つとがイス三つ。

座っているのは机に突っ伏している試験官二人と受験者。

白色灯により部屋は何もかもが白く照らされていた。

三人のうち、一人が白い顔の筋肉を弛緩させて尋ねた。
室内に緊張感が漂う。

試験官1「自己紹介を。」

菊池「はい。

菊の花のきく、に、池のち、で、菊池と申します。

大学時代にうちこんだものはピタゴラス定理の研究です。」

真面目そうな外見通りの優等生的な回答に、試験官も期待をしているようだ。

試験官1「ほう」

試験官2「では、この会社を志望した理由は？」

頷きながら朴訥と、丁寧に話す。

菊池「この不況が冷え込むなかを…」

試験官1「エアコンだけにか！」

菊池「えっ」

試験官2「えっ」

試験官1「えっ」

春日のせい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1461j/>

ぐうたらりーまん短篇集

2010年10月17日03時22分発行